超感覚英語講座の講師と学ぶ！

世界を旅するシンガポール6日間



2026年度　ツアー報告集

はじめに

大学生協では、日本では体験できない「異文化」を体験し、グローバルな視点やチャレンジ精神を育むことで、大学生の成長に貢献、将来の可能性や選択肢を広げるきっかけとするため、さまざまな海外体験プログラムを展開しています。
2024年度からは【世界を旅するシンガポール】を新たに開始し、今年度で3年目の実施となりました。この報告集では参加者の現地での学びをまとめています。
この報告集が、お読みいただいたみなさんの海外体験に一歩踏み出すきっかけになれば幸いです。

ツアー事務局（大学生協事業連合九州地区）

超感覚英語講座 講師からメッセージ

このシンガポール研修は「世界へ羽ばたき、国際社会で活躍する」ためのきっかけであって欲しいと思っています。世界には多様なコミュニケーションの形があります。自分の考えを相手に伝え、理解してもらい、相手の考えも受け取り、理解する。異文化理解は凄いことではなく、世界では「普通」なのです。相手と違う考えを持つことを恐れず、好きな場所で活躍する人材になって欲しいと願います。

超感覚英語講座講師（株式会社fit group）

※超感覚英語講座とは
　中四国・九州の大学生協が主催し、愛媛県の総合学習塾fitの講師が担当する英語講座です。「１つの単語に１つのイメージ」をキーワードにネイティブが持つ感覚を学ぶことで、英語を好きになる・使える英語を身につけることを目指します。本ツアーは超感覚英語講座の受講生を中心に募集し、実施しました。

世界を旅するシンガポール



目 次

●概要	P3
●ツアー全体振り返り	P4-5
●参加者アンケート	P6-7
●参加者レポート	P8-11

ツアースケジュール

Day1	福岡空港集合・オリエンテーション 直行便でシンガポール・チャンギ空港へ マーライオンと初対面 夜の会
Day2	朝の会 シンガポール現地大学生交流 シンガポール国立博物館訪問 マリーナベイサンズスペクトラ鑑賞 ガーデンズバイザベイショー鑑賞 夜の会
Day3	朝の会 シンガポール市内散策・寺院 ◎リトルインディア ◎アラブストリート 夜の会
Day4	朝の会 マレーシアへの国境越え ジョホールバル散策 夜の会
Day5	朝の会 終日自由行動 まとめの会
Day6	直行便で福岡空港へ 解散式

※上記は2026年度のスケジュールです
現地事情により、一部異なる行程となったコースがあります。
また、2027年度は一部行程が変更予定です。

参加実績

●出発日：8/18、21、23の3コース
●参加者：70名
※英語講師、生協職員同行
●参加者所属大学：
北九州市立大学、西南学院大学、
九州大学、長崎大学、長崎県立大学、
熊本大学、宮崎大学、鹿児島大学、
琉球大学、沖縄大学

シンガポールを訪問した理由

●公用語が英語！
シンガポールは公用語が４つあり、
その1つが英語で、基本的に英語が通じる環境です。

●多様な異文化体験ができる！
シンガポールは移民たちによって形成されている国で、シンガポールにいながら様々な異文化を体験できます。

●時差が少ない！
日本との時差は１時間のため、初めての海外旅行に最適だと考えています。



日本では体験できない「異文化」を五感で感じる6日間のプログラム

事前学習

ツアー出発前に、オンラインで事前学習を４回行いました。
初めての海外旅行となる参加者も多く、準備することや注意点も伝えています。共に過ごす仲間とまずは画面上で交流しています。
現地でのグループ別自由行動に向けて、計画も進めています。

１日目　シンガポールへGO🛫　到着後は早速マーライオンと初対面！




朝、福岡空港に集合します。
オリエンテーションを行った後、シンガポール航空の直行便で一路シンガポールへ向かいます！約６時間半のフライトです。
ホテル到着後は現地の地下鉄(MRT)を使って移動し、「マーライオン」と初対面、ラオパサでの食事・現地の方との相席を楽しみました。

２日目　現地大学生との交流→シンガポール博物館→ショー鑑賞✨





シンガポールの大学生とホテルで交流後、チャイナタウンを一緒に散策しました。参加者アンケートでは、印象に残ったこととしてこのプログラムが第1位でした。同じ大学生同士、楽しく交流をすることで、英語を話すことのハードルがグッと下がった参加者が多かったのが印象的です。その後、博物館へ移動し、シンガポールの建国の歴史を学びました。夜はシンガポールのエネルギーや発展を感じるショーを鑑賞しました。

３日目　市内散策（リトルインディア・アラブストリート）・自由行動





３日目はシンガポールの多様な文化を感じる時間となりました。
グループごとに各エリアの集合場所まで徒歩やMRTを使って移動していきます。リトルインディアでは、寺院を訪問し、現地の方へ英語で質問をするミッションに挑戦をしました。アラブストリートではサルタンモスクを訪問し、現地の方からお話を伺いました。その後はグループ別の自由行動となり、ブギス散策や少し足を延ばしてカトン地区に行ったりと、グループごとにお楽しみいただきました。
毎日夜には、1日の振り返りをする夜の会を行います。１日に経験したこと・感じたことを言語化し、参加者自身の学びとして積み重ねること、ほかの参加者とも意見交換することでより学びを高めるために実施しています。
同行する英語講師による授業やアクティビティも行っています。

４日目　マレーシアへの国境越え＆ジョホールバル散策



路線バスに乗って
マレーシア・ジョホールバルへ向かいます！
約１時間半で到着します。
日本ではできない**陸路での国境越え**です！



ナイトマーケットに訪問しました！
値札がないお店がほとんどなので、参加者たちは英語で値段を聞いたり、値下げ交渉をしたりと、お買い物を楽しんでいました。









シンガポールからマレーシア・ジョホールバルへ行き、マレーシアの文化を感じる１日となりました。現地の寺院に訪問してお話を聞いたり、ローカルなショッピングモールに行ったり、ナイトマーケットに行ったりと、さまざまな体験をしました。ナイトマーケットではシンガポールとは異なる雰囲気や物価の違いを肌で感じました。値引き交渉にも果敢にチャレンジし、値引きに成功した方もいました！ナイトマーケットでのお買い物が終わったら、バスでまた国境越えし、シンガポールに戻ります。

５日目　自由行動・まとめの会→空港への移動







事前にグループごとに計画したスケジュールに沿って１日を自由に過ごします。セントーサ島に行ってテーマパークで遊んだり、水族館に行ったりと充実した時間を過ごす方が多いです。５日目となるとすっかり街や英語環境に慣れて、アクティブに行動していました。スマホに頼らず、分からないことは現地の方に声をかけて相談・解決したり、テーマパークでの待ち時間は前後の方に話しかけたりと、自分たちから積極的に経験を積み重ねていました。
夜はまとめの会を行い、１人ずつツアーでの学びを各自のベストショットと共に全体に発表しました。時間が足りなくなるくらい、１人１人がしっかり話をしてくれました。その後、専用バスでチャンギ空港に向かいます。





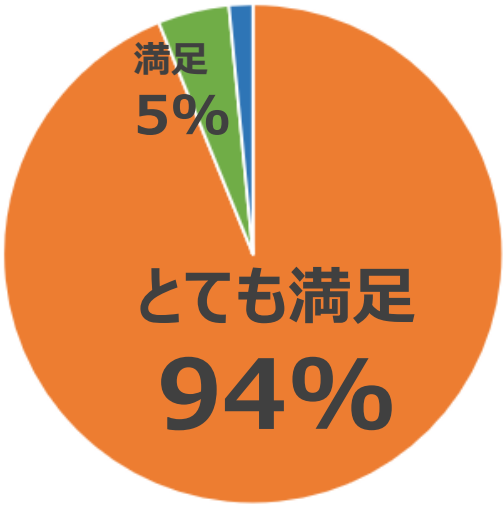
６日目　帰国・解散式

名残惜しい気持ちを抑えて、
福岡空港へ向かう飛行機に搭乗です。
約6時間のフライトです。
福岡空港到着後、解散式を行い、
それぞれ自宅へ戻ります。

～お疲れ様でした～

2026年度世界を旅するシンガポール

参加者の満足度 99%



参加者の皆さんからたくさんの
「参加してよかった」の声をいただきました



ガーデンズバイザベイ
での集合写真♪

【参加者アンケート】 ツアー全体の感想を教えてください！



初めての海外でとても不安でしたが、引率の先生方が手厚く英語をサポートして下さり、自分の中にあった英語で会話するハードルがとても下がりました。そのため、自分から現地の方に話しかけようと思えるようになり、さらには英語をもっと勉強したいと思えるとても成長した濃い6日間だったなと感じます。また、宗教やその街ごとの様々な文化も学ぶことができました。

たくさんの挑戦や体験、学びがあり、とても楽しくて濃い6日間でした。勇気を出して挑戦すること、異なる考えや暮らしなどを学び、尊重することの大切さを知ることができました。ツアーを通してさまざまな人と出会い、交流することができてとても楽しかったです。

英語は文法や単語など覚えることがとても多く、勉強することが苦手な教科として認識していました。しかし、文法や単語以前に、伝えたいという意思があれば、多くの人とコミュニケーションを取ることができると分かり、英語に対する意識が大きく変化しました。

このツアーに参加して本当に良かったと思う。引率の先生方や生協の方々のサポートのおかげで安心して海外研修を行うことができた。教科書で学ぶことよりも実際に現地に行って五感で感じることの方が大切だと改めて思った。匂いも人も場所によって変わることが驚いたし、自分の考え方の幅も広げることができた。

ツアーに参加する前と後で、自分に自信をつける事ができました。人見知りで自分から話しかけたりする事が苦手でしたが、相席したり、現地の方に質問や店員さんとのコミュニケーションなどを通して日本語でも難しいことを英語でできたことで自信をつける事ができました。なので、難しい、できないと決めないでまずはやってみようと思えるようになったことがよかったです。

【参加者アンケート】 この研修に参加しようと思った理由は？



大学在学中に初めての海外に行ってみたかったから。生協で募集があったので安心して参加できると思ったから。

海外に行ってみたかったのと英語を少しでも話せるようになったらいいなと思っていたから

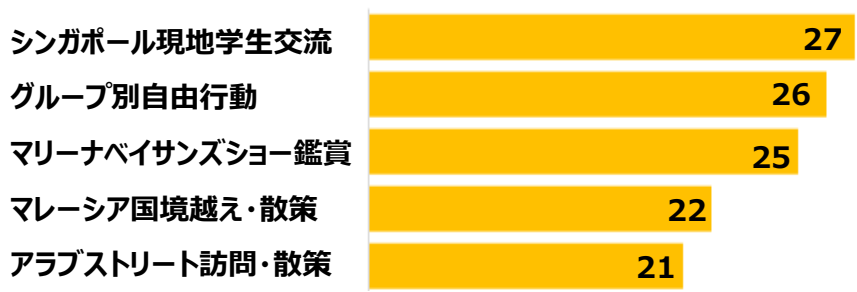
新しい価値観や文化に触れ、視野を広げたいと思ったから

海外に行ってみたい！英語でコミュニケーションを取ってみたい！英語講師・生協職員と同行で安心！と思ってくれた方が多いようです。初めての海外渡航という参加者がほとんどでした。

【参加者アンケート】 出発前に不安な点はありましたか？その不安は現地に来てみてどうでしたか？

英語は好きだけど、自分から英語を自信を持って使えるか不安だったし、班の子とはずっとZoomでしか会えていなかったので、仲良くなれるかとても不安でした。実際行ってみて、日が経つにつれ、英語を自分から発せられるようになったし、自ら雑談しに行くまで成長できたので、来る前の不安は何だったのだろうと思うまでの達成感を得られました。班の子とも、初日からたくさん話して、お互いに励ましあって、後押ししあって、たくさん英語を使うことができ、とても感謝しかなく、最終日にバイバイするのがとても悲しかったです。

【参加者アンケート】 印象に残っているプログラム BEST5



シンガポール現地大学生との交流を通して、挑戦することの楽しさや、現地の人の温かさを学ぶことができた。

学生交流では言葉の壁を感じなくて本当に楽しかった。



↑現地学生とチャイナタウンで散策！
【ドリアン】にもチャレンジしました✨

【参加者アンケート】 ツアーに参加するか迷っている後輩へのおすすめポイント



迷ったら絶対参加した方がいいです。参加して後悔は絶対しません。とても充実した6日を過ごすことができます。なにより、英語を使うことが楽しいと思えるようになります。英語が苦手な人も、得意な人も、これまでの英語学習とは全く異なる経験をすることができるので、このツアーに参加することを強くお勧めします。
人生の中の大切な経験になること間違い無しです。

英語でのミッションもあり、積極的に英語を現地でたくさん使うのでとても勉強になります。また、英語だけでなく、数々の宗教や文化も一緒に経験できるので、頭がパンクするくらい沢山の事を学ぶことができます。

ツアーを終えて
参加者レポート

伝えたいという気持ちがなによりも大切

私は中学生の頃から英語がとても苦手で、自分が海外に行って現地の人と実際に話すなど考えたこともありませんでした。このツアーに参加するかどうかもたくさん悩みましたが、今は心から参加してよかったと思っています。

この 6 日間で学んだことはたくさんありますが、その中でも世界の大きさを感じられたことが心に強く残っています。見たことのない景色や物や文化ばかりで、日本にいるだけではとても経験できないものが多く、毎日がとても刺激的でした。自分の英語力に大きく不安がありましたが、単語や文法以前に、伝えたいという気持ちがなによりも大切なのだと学びました。私たちとは異なる文化で暮らしている方々と、英語を通して会話をすることができるのだと実感できたことは、とても不思議な感覚でした。日を重ねるごとに自分の英語に少しずつ自身が湧き、英語で話すことが楽しいと思えるようになりました。また、多様な宗教を経験し、それぞれの宗教を信仰する方々の生き方に触れることで、どれが良いかではなく、どのように生きるかが大切なのだと分かりました。

このツアーに参加して、シンガポールとマレーシアと日本の違いを感じ、それぞれの国の良さに気づくことができました。また、英語への意識が、教科からコミュニケーションツールへと大きく変化しました。そして、英語を通してもっとたくさんの人と関わってみたいと思えるようになりました。これまで以上に英語学習に力を入れ、また海外に行ってみたいと思います。



違いを違いとして受け入れる寛容な心

私は初めての海外で、英語を今の実力で、自分の知っている正確な単語、文法を使ってしっかり伝えられるように頑張ろうと思って今回のツアーに挑みました。実際には単語も簡単なものしか出てこなかったり、文法も逆になったり間違って言うこともあったけれど、意外と自分の考えていることが伝わっていることに気づきました。この気づきの変化が私の考え方に変化をもたらしたと思います。研修前はどれだけ自分が上手に伝えることができるかに焦点を置きがちだったけれど、今回の研修で言葉のキャッチボールが長く続けば続くほど、自分の思いが英語を介して国籍が異なる人とでもコミュニケーションが取れることに達成感を感じるようになりました。

また、ヒンドゥー教、イスラム教、道教、シク教をその場に行って学ぶことで、前までは関わろうとしなかった宗教について詳しく知ることができ、その教えは私も常に意識している、家族を大切にするだとか、自分の中にも常に敵がいることなどでした。このことから、これらの宗教から自分の考え方を見直すきっかけになり、単に信仰が強い人々という認識ではなく、尊敬の気持ちに変わりました。私たちの班は自由行動の時間にも積極的に外国人の方に英語で話しかけて、話すたびに自信と多国籍の方と意思疎通ができる喜びを感じながら成長することができました。そして、日本人と外国人、という考え方から私も外国人の一員だと自覚し、この世界の人々はみんな同じ人間なのだという新鮮な気持ちと世界の温かい繋がりを感じ、私の視野が明るく広がりました。

このツアーの特徴である、夜の会で毎日振り返りをすることで自分の気持ちを言語化することができ、分からなかった英語のフレーズも次の日に使うことで自分のものにできたのでとても嬉しいです。

今後も、留学や将来に向けて英語を話そうとするマインドと違いを違いとして受け入れる寛容な心を忘れずにチャレンジしていきます。

英語という学問に対する認識の変容

私は今回の研修を通して主に、自身の価値観の拡大及び英語という学問に対する認識の変容を遂げる事が出来た。

まずは価値観についてであるが、これまで私は比較的視野が狭窄しており、自分の周りの物事ばかりを重視していたため、より広い視野を求めずに、時に利己的な思考を踏んでしまうこともあった。しかし、今回の研修では敢えて多民族が共存する地域に自分の身を置くことで、様々な価値観を持った人々、人種、宗教などが互いに干渉、内包している特殊な環境を経験することができ、そこでいかに自分が今まで見てきた、見たつもりになってきた世界が狭い範囲だったかに気づかされることができた。文化尊重などという概念も、今までは学校の授業で SDGs などという名目のもとで机上の議論としてのみ学んできていたが、実際に肌身で感じることで実感が沸き、今後の学びのテーマとして興味を持った。

そして、英語に関してもまとめの会で話した通り、その本質的な楽しさに気づくことができた。これは必ずしも文法的に完璧な文章を話せたというわけではなく、マレーシアでの交渉など、英語を通してのみ得ることのできる交流を発展させたことに喜びを感じた。もちろん学力的な英語そのものについても、当初のツアー参加の目標は、自信のなくなった英語能力を取り戻す、という事であったが、この目標を達成することができた上に、さらにモチベーションを高める事が出来たので、その相乗効果で今後は英語を武器として学業に励んでいきたいと思う。

最後に、今回のツアーでは決してかかわることのない大学の仲間たちと、一期一会ではあるが関係性を築けたことが本当に良かった。６日間という短い期間ではあったが、一生物の交友関係、思い出を作ることができた。このツアーに参加して本当に良かったです。



自分から勇気を出して失敗と成功体験を積み上げていく感覚

私は人間関係と自分のこれまでの選択に自信がなくなっていた時期に、このツアーと出会えて、現地の写真を見たとき心から笑っている表情の自分に驚いた。多民族が入り混じるのが普通のシンガポールは、異なる言語や服装が日常のためか、拙い英語の日本人の私達にも優しくしてくれる人々ばかりだった。飲食店では困っているときに、すぐに気付いてサービスしてくれる店員さん、困っている人の力になりたいというシク教など、現地の人々の生の温かさに触れて、人間同士の本来の関わりはこうでありたいと思った。私自身も現地の人々と話すときに前のめりになって目を見て、話している内容や言葉の意味を理解しようとしていることに気づいた。日本ではバス内で隣に人がいるのに視線の先は常にスマホ、外見で性格を予想して偏見を持って関わったりしている自分の行動に違和感を憶えた。逆に言語が同じ日本人と関わるときの方が理解することを忘れていたのではないかと思い知った。

ツアーでは引率の先生方が作ってくださった、安全かつ、ハードルが高く存分に挑戦できる機会の中で、自分から勇気を出して失敗と成功体験を積み上げていく感覚が最高に楽しかった。これまでの固まった考え方から解放されて、日本に帰ってきてから、英語力ＵＰと人との関わり方をより楽しむことへのやる気が満々です！このツアーと、引率の方々や現地の人、ツアー参加者と出会えてよかった。

悩みに行き詰っている人、刺激が欲しい人、環境を変えたい人、海外に行ったことがない人、海外に行ったことはあるけど現地の文化や人との交流はあまりしたことがない人など、とにかく一人でも多くの人にこのツアーに参加してほしい！！

積極的に挑戦していきたい

私は、この六日間の研修で三つのことを学びました。一つ目は、英語の上達には実際に現地の人と話すことが大切だということです。シンガポールに来た一日目、屋台での注文や現地の人との会話に苦労し、簡単な内容でも聞き取れませんでした。しかし、fitの講師の方からのアドバイスを実践し、多くのネイティブの方と積極的に会話を重ねることで、英語を話すことへの抵抗がなくなりました。この経験から、完璧な文法よりも、まず話そうとする意欲が大切だと感じました。

二つ目は、新しいことに挑戦することの大切さと楽しさです。私は外国の食べ物に苦手意識がありましたが、実際に挑戦してみるとおいしい料理がたくさんあることを知りました。また、リトルインディアのカレー店で英語だけで注文した際には、うまく伝わらず頼みすぎてしまいましたが、その失敗も今では貴重な経験だと感じています。挑戦することで新しい発見があり、失敗からも学べることを知りました。

三つ目は、自分の知らないことの多さです。ツアーではシーク教をはじめとする様々な宗教について学び、教科書では知ることのできない内容に触れることができました。また、シンガポールでは異なる宗教を信仰する人々が互いを尊重しながら共に暮らしていることに感銘を受けました。

この研修では、普段の生活では得られない貴重な経験と学びを得ることができました。これらの経験を今後の人生に生かし、様々なことに積極的に挑戦していきたいと思います。





これからについて真剣に考えるきっかけ

「世界を旅するシンガポール」を通して、私はたくさんの人や文化に触れ、自分自身の考え方を大きく変えることができました。特に印象に残っているのは、現地の方々との交流です。実際に自分から話しかけてみたり、一緒に過ごしたりすることで、教科書や授業で学ぶだけではわからない、それぞれの文化や宗教を大切にする人たちの思いがひしひしと伝わってきました。「百聞は一見に如かず」というように、知識として知っていることと、実際に見てかかわることは全く違うのだと実感しました。

また、独立からまだ短いシンガポールが急速に発展してきたことを知り、その成長スピードにも本当に驚かされました。と同時に、「自分も今のままではいけないな、もっと成長するために努力していかないとな。」と本当に、強く、感じました。これまでは「大学生は人生の夏休みだし！！今は将来の事なんて考えずに、あそびまくるぞおお↗↗」と思っていたのですが、このシンガポールでの 6 日間が、自分のこれからについて真剣に考えるきっかけになりました。

そして、自分らしさを大切にする宗教や、現地の人の堂々とした振る舞いを見て、人と比べるのではなく、「自分は自分」と考えて、自分なりに成長していけばいいのだとも思えるようになりました。

さらに、5日目のまとめの会では「それ私も言いたかった！」と共感したり、「この人はそんなことを感じていたんだ～」と新たな発見があったりしました。普段の旅行では「何が楽しかったか」という話になりがちですが、このプログラムでは一人一人の感じたことを共有することで、さらに学びを深めることができました。楽しかっただけでは終わらず、自分自身の考え方やこれからの生き方まで考えることができた、とても貴重な時間を本当にありがとうございました。

とても濃く、充実した時間

今回、僕がこのツアーに参加しようと思ったのは、せっかく大学生になったし、初めて海外に行ってみよう、という軽い気持ちでした。また、６日間観光をして回るのだろうな、と思っていました。

しかし、実際の６日間は、想像していたものとは違い、たくさん英語で話し、ハードなスケジュールでした。事前研修で、現地の人と英語で話すことを知らされたとき、自分の心の中ではそんなのできないだろうと思っていました。自分の性格は内向的なので、少し抵抗があったのだと思います。しかし、英語が使われている地域で６日間過ごしてきて、英語でたくさんコミュニケーションをとることができました。現地の人たちは想像していたよりも社交的な人が多く、積極的にコミュニケーションをとってくれました。特に印象に残っているのは、ナイトマーケットやアラブストリートで、サッカー関連のグッズを購入したとき、その店の店員の人とサッカーの話ができたことです。かなりテンションが上がりました。海外の人と自分の好きなことの話題で話すのは初めてだったので、非常に良い経験ができました。

今回の研修では、様々な宗教観に触れました。特に印象的だったのは、シク教の信者からのお話です。５Kなどを教えてくださりました。サルタンモスクやリトルインディアの寺院でも、実際に礼拝されている人を見ることができました。日本ではなかなか見れない光景だと思います。この６日間は、とても濃く、充実した時間でした。本当に楽しかったです！





一生忘れることのできない経験

「世界を旅するシンガポール」という名前の通り、シンガポールとマレーシアに加えて多くの国に行ったような気持ちになるほど今回のツアーはとても濃い時間であった。マーライオンの迫力に驚いたり、ドリアンの匂いに圧倒されたりするなど実際に現地に足を踏み入れた人にしかわからない学びがあった。五感で記憶することで一生忘れることのできない経験をすることができた。私が一番印象に残っているのは、ヒンドゥー教やイスラム教、シク教の寺院を訪れたことである。日本にいる私は宗教について人々に尋ねることはタブーなことだと思っていた。しかし、宗教を信仰している人たちは自分たちの宗教に誇りをもっていて、自分の生き方を確立していた。自分の軸を持ち、宗教について熱く語ってくださる姿は今でも心に残っている。考え方の違いはあれども、生き方の教えを導くという面では共通していてかっこいいと思った。

この研修に参加する前は「英語でうまく伝わらなかったらどうしよう」と心配だったが、fitの先生方が使える英語を教えてくださったり、伝えるためにはどうしたらいいのかを分かりやすく説明してくださったりして、英語を話すハードルが下がった。伝える気持ちが一番大切であり、話すことに慣れることでしか言語の壁は乗り越えられないと思った。最終日には自分から英語で話しかけてコミュニケーションを楽しむことに成功した。今後の生活において、今回学んだことをしっかり生かして自分自身について見つめ直したり、多様性の尊重につなげたりしたいと思う。自分を強く成長させてくれたこの研修に参加して本当に良かった。



2027年度　世界を旅するシンガポールについて

2027年の夏休みに３コース実施します！

詳細は２月発行予定の募集パンフレットにて
ご確認をお願いします。
申し込みは４月頃から開始いたします。

ツアーの
専用サイトは
コチラから

ツアー説明会の
予約はコチラから